

NEWS LETTER



今月、12月は人権月間です。「結婚の自由をすべての人に」を掲げた大注目の裁判、11月30日の東京地裁判決では、「個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して定めなければならない」と規定する憲法24条2項に「違反する状態にある」との見解を示しました。実質的な違憲が認められたわけです。一步前進ですね。すべての人が自分らしく、生きやすい社会を目指し、調布LGBT&アライの会は、自分たちができるところから、活動を続けています。

性と生き方の多様性講座

「多様性へのこれからの
支援・教育のあり方
～出る杭を面白がる!～」



←8月11日は性教育のプロ、
レインボーカフェin岸和田
の津田育久子助産師さんが
講師でした。パワフルな
講座で、元気を
たくさんいただきました!

2022年8月11日(木祝)

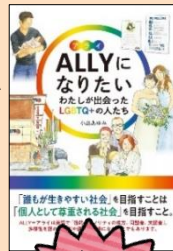
18:00~20:00

zoomウェビナー講座
※後日配信あり

FREE ADM



日本で初めて
「アライ」
という言葉が
タイトルに
つけられた
1冊。文章も
イラストも
温かくて
素敵です♡



お勧め
の1冊

小島あゆみ著
かもがわ出版

性と生き方の多様性講座

「LGBTQだけじゃない。
DSDs:体の性の様々な
発達(性分化疾患)とは?」



2022年9月11日(日)

18:00~20:00

※参加費無料

zoomウェビナー講座 ※後日配信あり

↑9月11日は身体の多様な性の実際
について、ネクスDSDジャパンの
ヨヘイルさんから貴重なお話を
伺いました。男性の体、女性の体と
一言で言っても、実に様々な特徴が
ある。DSDの方はただの男性・女性であり、
ハーマフロライト等の観念は差別的である事等、
人間の尊厳について学ぶことのできた講座でした。

nexdsd
JAPAN

10月14日の多様性講座は、
約1年ぶりに、たづくり映像
シアターにて、対面講座を行
いました。＼(^o^)/
11月から都内で運用開始の
東京都パートナーシップ制度
について、市の職員さんより
詳細なお話を伺いました。→

【お知らせ】
調布市のパートナーシップ宣
誓制度(仮)素案
12月5日~1月10日までパブ
リックコメントを募集中です。
担当部署までお寄せください。
danjyo@city.chofu.lg.jp

性と生き方の多様性講座

「パートナーシップ制度って何?」

11月1日(火)から運用開始となる
「東京都パートナーシップ宣誓制度」は
どのようなものなのでしょう。

2022年10月14日(金) ※参加費無料
18:00~20:00 ※申し込み不要



※調布市パートナーシップ宣誓制度(仮)の
素案は市のホームページPDFをご覧ください

トランスマーチが新宿で開催されました

11月12日、Transgender Japan主催の東京
トランスマーチが行われ、約1000人が新宿の街を
歩きながらトランスジェンダーの権利と尊厳を
アピールしました。当会からも有志の会員3名が
元気に参加しました。
お疲れ様でした!



セクシュアルマイノリティと
発達障害



←当会のイベント常連さん、
寺田幸弘さんのサイト
のご案内です。「セクシュアル
マイノリティと発達障害」に
関する当事者エッセイ。
読み応えあります!お勧めです。

ぼくが性別「ゼロ」に戻るとき

空と木の実の9年間



↑11月23日は、念願の自主上映映画
「ぼくが性別『ゼロ』に戻るとき」を、たづくり
映像シアターで開催しました!視聴後は皆で感想
をシェアする座談会でした。エンディングに驚か
された方が続出...!性自認の難しさや、GID法案
の手術要件について、意味深長な意見がたくさん
出ました。ご参加ありがとうございました!

私らしく生きるために、
僕は性を捨てた

『LGBTと宗教』

12月は性の多様性と宗教がテーマです。
初めての方もリピーターさんどうぞ！

2022年12月3日(土)18時～20時

講師 平良愛香牧師
寺田留架さん

@調布市文化会館たづくり
映像シアター



←12月3日は宗教をテーマに、お二人の講師の対談形式も取り入れた、豪華な内容でした。後日配信をご覧になった多くの方からも、様々な感想がたくさん寄せられました。



『LGBTと法律』

～安心して暮らすために～

2023年1月29日(日)

10時～11時45分

調布市文化会館たづくり映像シアター
参加費無料 要申し込み

次回、1月29日のテーマは法律です。↑マイノリティーの支援に力を入れている、佐野元信行政書士さんが講師です。行政書士さんのお仕事や、様々な手続きについて、学んでみませんか？講座のお申込みは以下まで。
m_tanaki@fb3.so-net.ne.jp

後日配信も！



リレーコラム「性別のレッテルから自由になる」

20年程前、学生の頃、買い物中に化粧品の試供品を販売員の方から渡された時のことです。見ず知らずの人が私を外見から女性と判定していることに気付き、とても気持ちが悪い感じがしました。今思えばその判定を受け入れられなかったのです。私が自分の性自認の違和感に気付くきっかけとなった、最初の出来事でした。

でも、当時はその違和感の理由がわかりませんでした。その後、私は服を着て外へ出ること次第に苦痛を感じるようになりました。私は自分を表現する方法がわからず、すっかり失望していた35歳の時に、「Xジェンダー/ノンバイナリー」という言葉を知り、LGBTを学び、初めて自分のアイデンティティーが「無性」なのだと自覚しました。自分のカテゴリーを表す言葉と出会い、自分の人生を取り戻した気がしました。

メンズ用のTシャツなどのアウトターに、袖を通すことで私は服を着ることが困難ではなくなりました。私の場合はそれで自分の性が中和される気がしたからです。これまでの、自分のアイデンティティーにフィットしない自分で生きるのはとても居心地の悪いものだったと再認識しました。

世の中は多様性への理解が進む真っ只中でした。その頃、ジェンダーレスファッション、と銘打ったものがすでに世の中には登場していました。ジェンダー表現を限りなく取り除くことで、着用者の性別を定めないものです。シャツやスラックスなど、シンプルでカジュアルな服装が多く、性表現を定めないマイノリティー向けです。しかし私は、マイノリティーのためのジェンダーレスファッションは、ジェンダー規範からもっと自由になれるような気がして、その答えを探していました。

そんな時、ジェンダーレスファッションとしてスカートを出しているブランドBAAKU（井手上獏さん…デザイナー・ジェンダーレスモデル）を知り、仰天しました。スカート、という女性特有のアイテムなので、一見、性差をより強調しているように見えます。実は全く違うのです。「男性でも女性でもない」層に向けて「スカートを履いてもあなたのアイデンティティーは揺るがない！」というメッセージなのです。ジェンダーの垣根を越えて、アイテムそのものからジェンダーの括りを無くすという発想でした。

「女性のもの」と捉えられがちなスカートがその先入観(レッテル)から解放されようとしているのを感じました。画期的でした。私が待っていたのはこれでした。

2022年現在、調布市の中学校ではすでに制服をスラックスとスカートから選択できるようになりました。誰もが心から自由に制服を選択できる環境を作るには、学校現場における多様性の理解を促進すると共に、制服、特にスカートへのジェンダーイメージを取り払うことが、非常に重要だと考えています。すでに大昔にズボンが男性のものという先入観から私たちは解放されているのですから、次はスカートの番だと考えています。

世の中を見渡すといたる所に「性別のレッテル」が存在します。服装だけでなく、趣味、場所…etc。その影には、そのレッテルに居心地悪く過ごしている人や、レッテルを貼られることを避けるために自分を押し込めている人が確実に存在します。それらのレッテルは人の頭の中にあります。見えないレッテルが外れたらもっと多くの人にとって優しく居心地の良い世界になると思います。マイノリティーに寄り添ったものは、自然とマジョリティーにも優しい世界につながる、というBAAKUの服が表している世界観のように。ジェンダーに囚われず自由に好きなものを選べる、そんな風に世の中の価値観を変えていけたらいいなと思います。(会員 K)



ノンバイナリーを象徴するフラッグ



当会は、毎月様々な分野の専門家の方を講師にお招きし実施している無料講座と、毎月市内のふれあいの家で開催しているにじいろお話会の2つが主な活動です。会費を随時募集中です。会費は無料です。当事者の方、アライの方、多様性に関心のある方、仲間になりませんか？



2022年12月17日発行/調布LGBT&アライの会
事務局/〒182-0011東京都調布市深大寺北町4-13-51
マザリーズ助産院内 棚木めぐみ 090-3535-9227
<https://twitter.com/@chofuLGBT2021>

